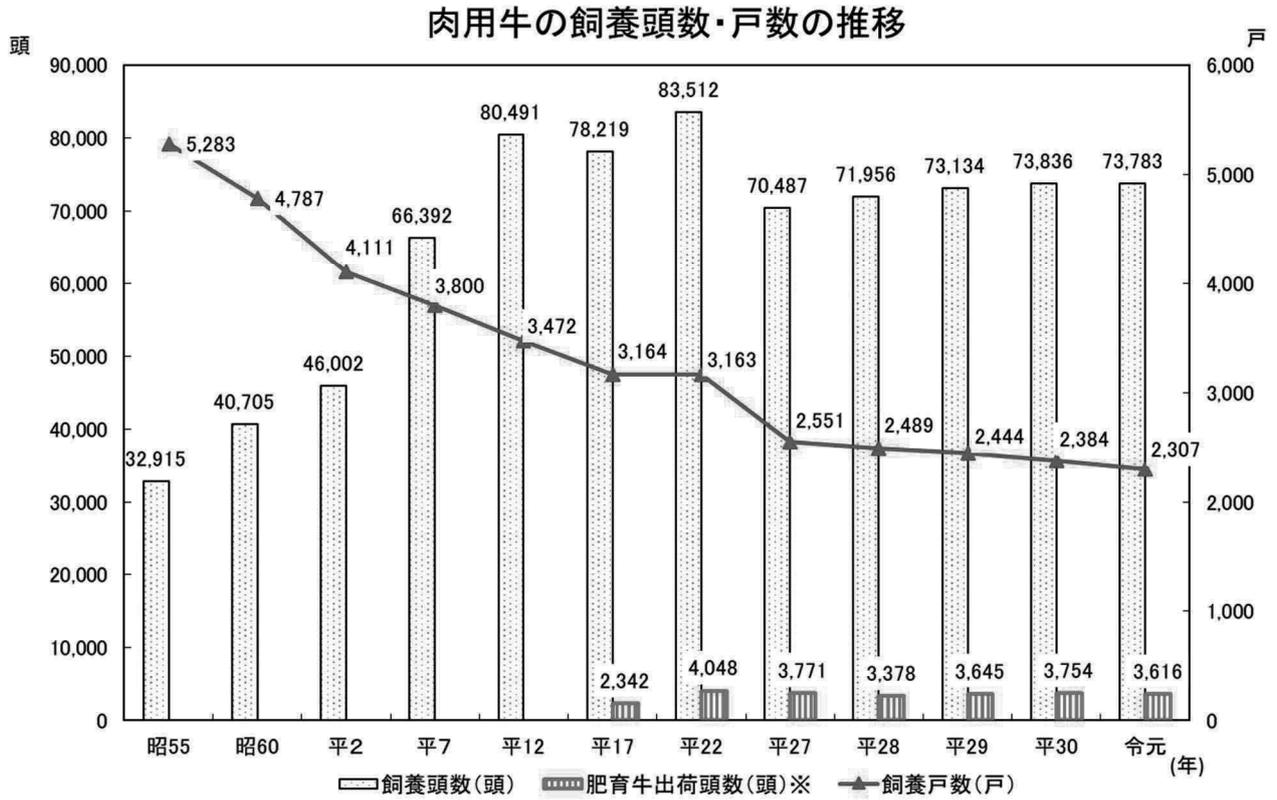
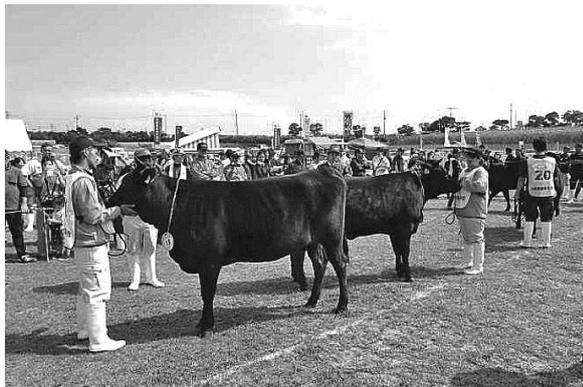


(1) 肉用牛

本県の肉用牛飼養頭数は、畜産クラスター事業や畜産担い手事業等による施設整備や草地整備、一括交付金事業や肉用牛経営安定対策補完事業等による繁殖素牛導入を行ったこともあり、平成26年より5年連続増加と好調を維持。また、繁殖雌牛、仔牛生産頭数及び仔牛出荷頭数は、継続して増加しており、今後も仔牛出荷が増加する要因が整っている。さらに、肥育牛においても「肉用牛肥育素牛導入支援事業」等による効果により、3年連続増加している。



資料：「12月末家畜・家きん等の飼養状況調査」県畜産課 * 肥育牛出荷頭数：(公社) 日本食肉格付協会「牛枝肉格付情報」(H15~)

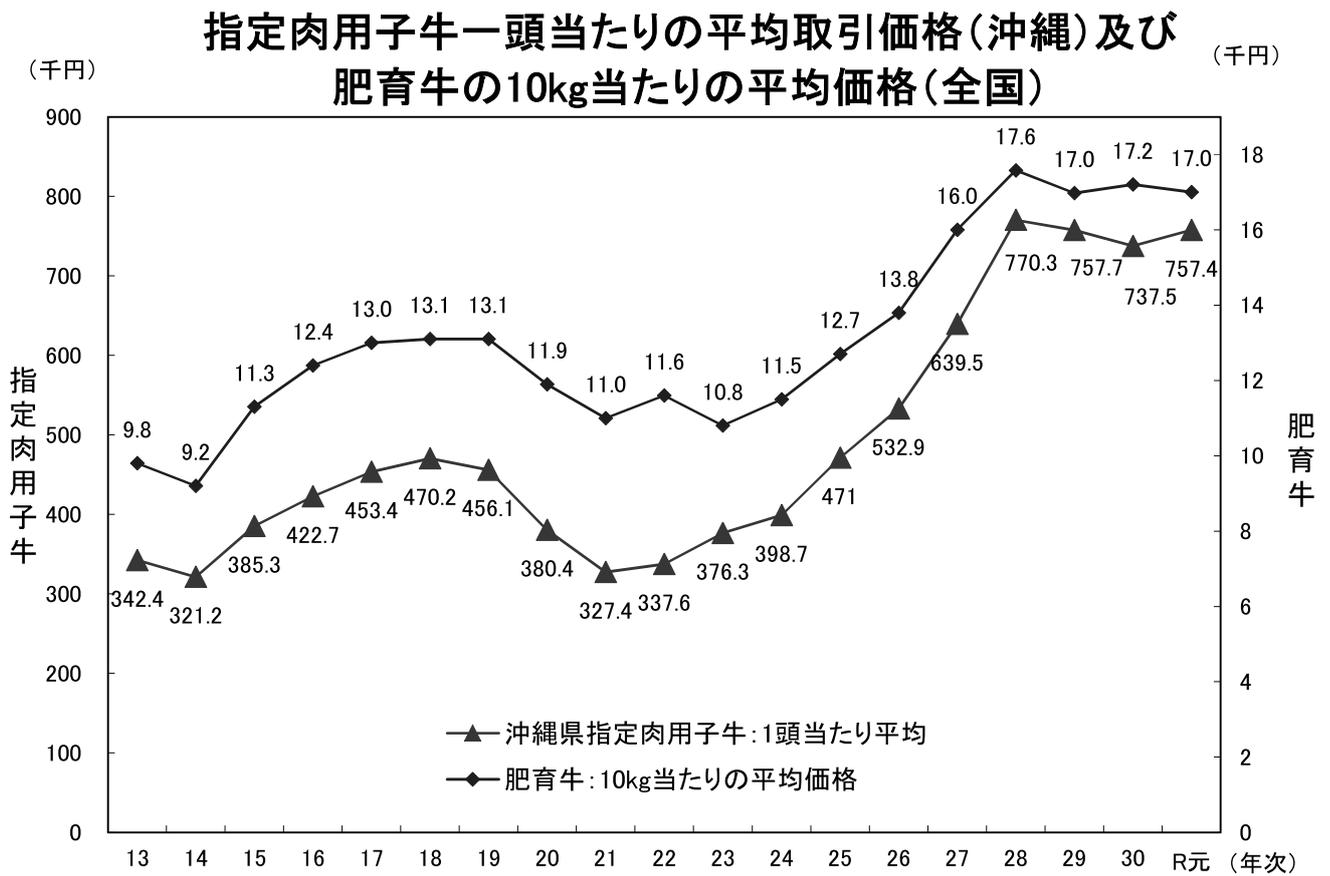
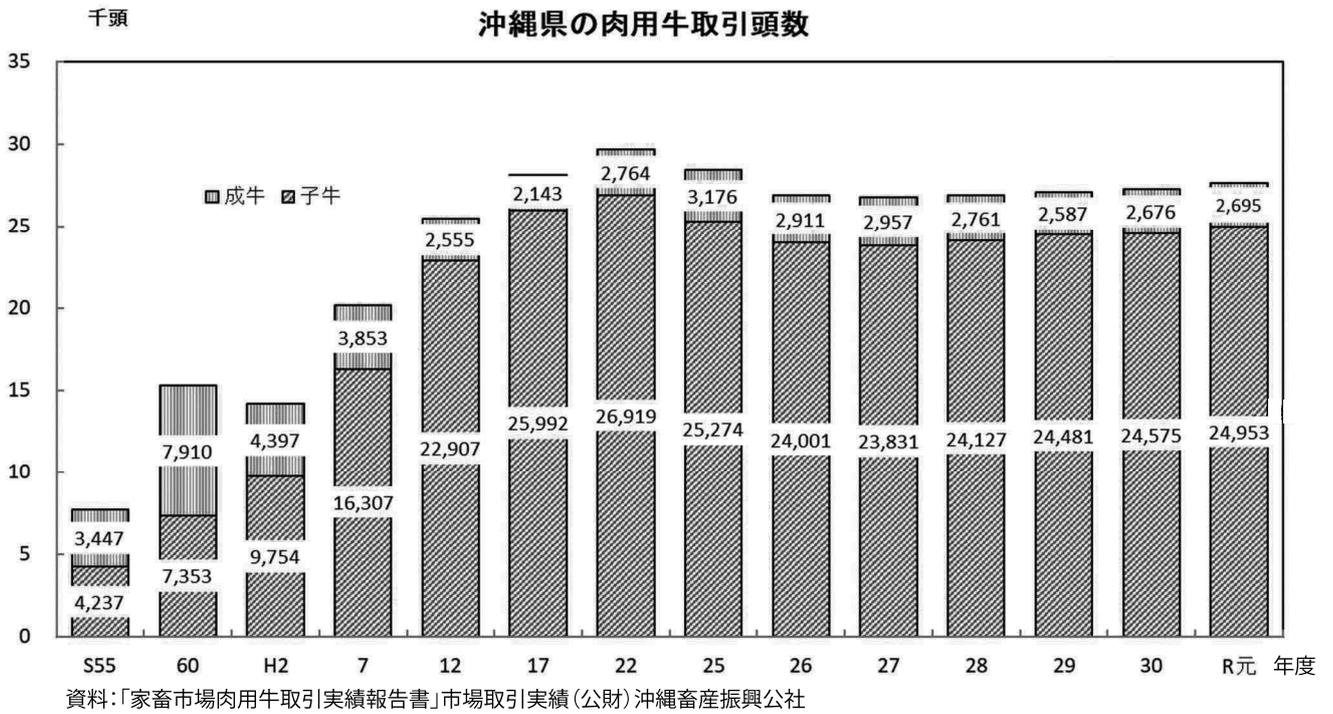


令和元年度県共進会
(今後の生産基盤を支えていく肉用牛若雌2頭の審査風景)

令和元年度県共進会

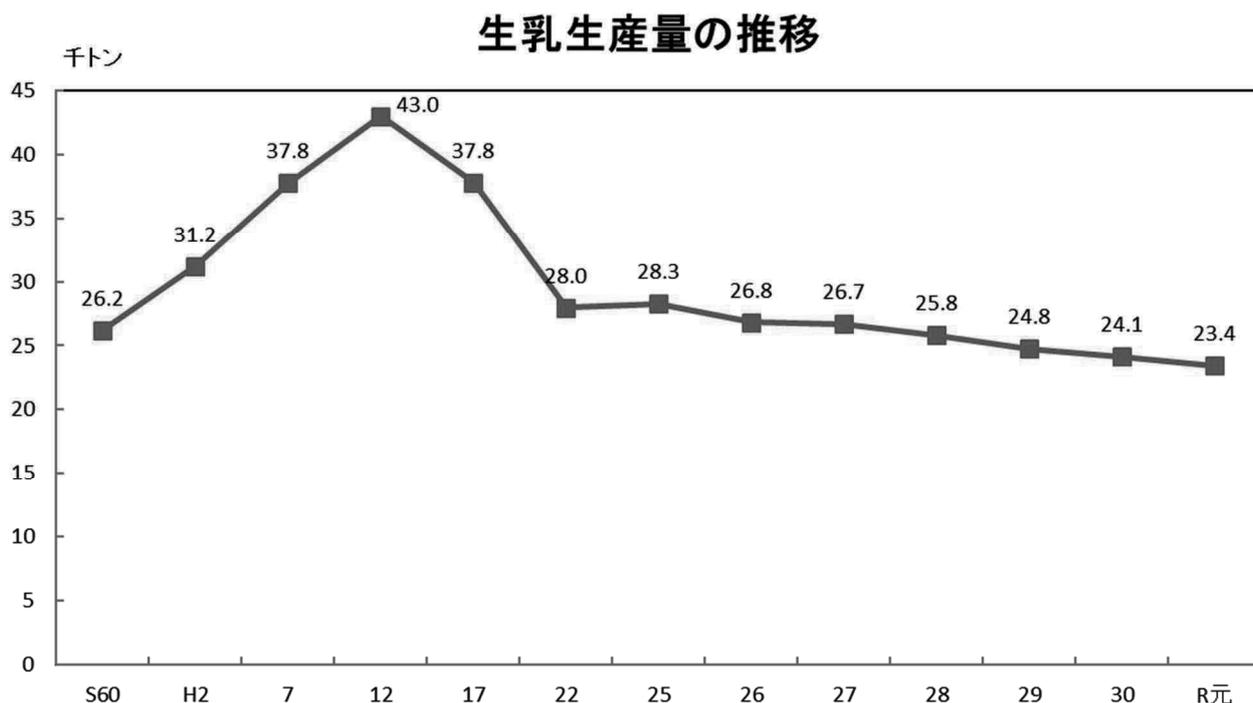
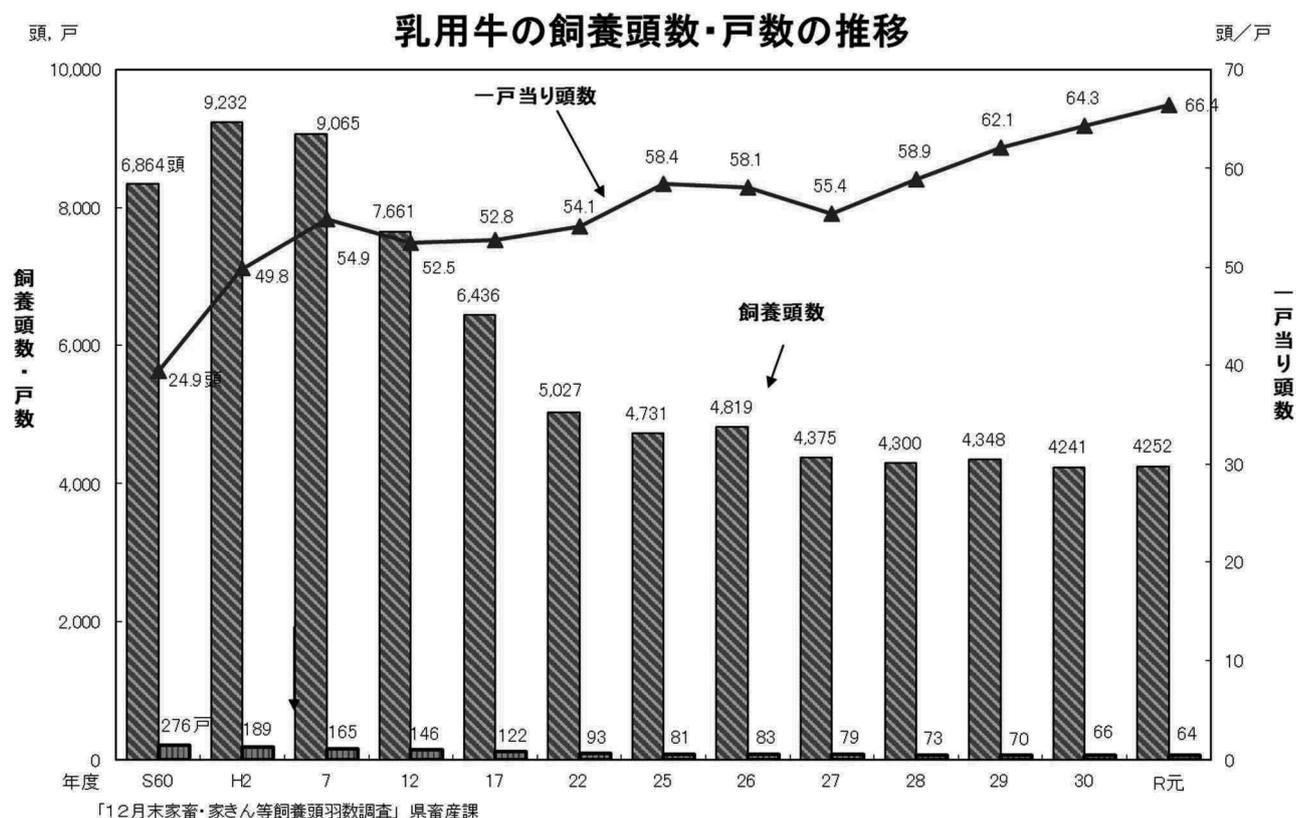
(最優秀賞を受賞し、待望の団体賞(肉牛の部)を獲得した石垣市)





(2) 酪農

本県の酪農は、全国的な消費の低迷、飼料価格の高騰などにより、飼養戸数、飼養頭数ともに減少傾向で推移しております。後継牛確保においては、県内にある乳用雌牛を育成する家畜改良センターに育成牛を預ける頭数が増えており、乳用牛の県外導入から県内育成へ力を入れております。また、1戸当たりの飼養頭数が増えており、農家の規模拡大が進んでいる状況です。



牛乳需給状況の推移

項目	年次(1～12月)	平成8年	13年	18年	23年	28年	29年	30年	令和元年		
県	生乳生産量(t)A	37,221	41,367	34,724	27,360	25,812	24,758	24,118	23,418		
	生乳移入量(t)	259	199	825	683	833	782	1,003	560		
	生乳移出量(t)	11	1,481	1,271	51	68	32	0	17		
	用途別 処理量 (t)	飲用牛乳向け	35,515	38,621	32,798	27,560	26,475	25,440	25,061	23,916	
		乳製品向け	1,939	1,378	1,344	345	2	0	0	0	
		その他	15	86	136	120	100	68	60	45	
		処理量計	37,469	40,085	34,278	28,025	26,577	25,508	25,121	23,961	
	飲用牛 乳生産 量(kl)	牛乳	一般向け	25,404	23,181	20,243	15,801	15,822	15,298	14,789	14,212
			学校給食		6,769	6,522	6,707	6,534	6,493	6,500	6,248
			小計	25,404	29,950	26,765	22,508	22,356	21,791	21,289	20,460
		加工乳	一般向け	11,822	11,850	9,866	8,257	5,915	5,817	5,504	4,930
			学校給食	7,788	376	0	0	76	109	39	29
			小計	19,610	12,226	9,866	8,257	5,991	5,926	5,543	4,959
		合計	45,014	42,176	36,631	30,765	28,347	27,717	26,832	25,419	
	移入量(kl)	314	415	388	830	862	988	1,343	1,818		
消費量(kl)B	45,328	42,591	37,019	31,595	29,209	28,705	28,175	27,237			
生乳自給率 A/(B×比重:1.031)	79.6%	94.2%	91.0%	84.0%	85.7%	83.7%	83.0%	83.4%			
乳飲料生産量(kl)	6,084	6,474	8,858	8,705	10,201	10,750	10,535	10,217			
1人当たり飲用牛乳消費量(l)	35.3	32.0	27.0	22.8	20.2	19.8	19.4	18.7			
全国	生乳生産量(t)	8,656,929	8,301,523	8,133,907	7,473,607	7,393,715	7,280,873	7,292,520	7,313,916		
	用途別 処理量 (t)	飲用牛乳向け	5,186,482	4,941,499	4,645,366	4,057,612	3,991,814	3,979,341	4,000,189	3,999,690	
		乳製品向け	3,351,084	3,266,285	3,407,370	3,350,651	3,349,245	3,251,921	3,243,465	3,270,032	
		その他	119,363	92,686	81,171	65,344	52,656	49,611	48,866	44,194	
		処理量計	8,656,929	8,300,470	8,133,907	7,473,607	7,393,715	7,280,873	7,292,520	7,313,916	
	飲用牛 乳生産 量(kl)	牛乳	4,222,023	3,875,298	3,702,308	3,062,688	3,049,421	3,088,740	3,141,864	3,159,408	
		加工乳	826,717	575,604	439,135	588,636	441,271	440,078	413,736	400,710	
		合計(消費量)	5,048,740	4,450,902	4,141,443	3,651,324	3,490,692	3,528,818	3,555,600	3,560,118	
	飲用牛 乳等生 産量(k l)	乳飲料生産量(kl)	1,027,759	1,231,267	1,244,009	1,275,825	1,236,298	1,177,231	1,121,273	1,125,270	
		発酵乳生産量(kl)	534,931	685,281	838,833	65,246	1,104,913	1,076,039	1,067,426	1,023,870	
乳酸菌飲料生産量(kl)		207,582	176,085	166,446	12,953	140,011	128,721	125,550	115,992		
1人当たり飲用牛乳消費量(l)	40.1	35.0	32.4	28.6	27.5	27.9	28.1	28.3			

(注1) 飲用牛乳の消費量には、加工乳も含まれる。

(注2) 値は農林水産省「牛乳乳製品統計」から転記。飲用牛乳1人当たり消費量については、平成19年までは「日刊酪農乳業速報」より、平成20年以降は県推計人口数で除した数値

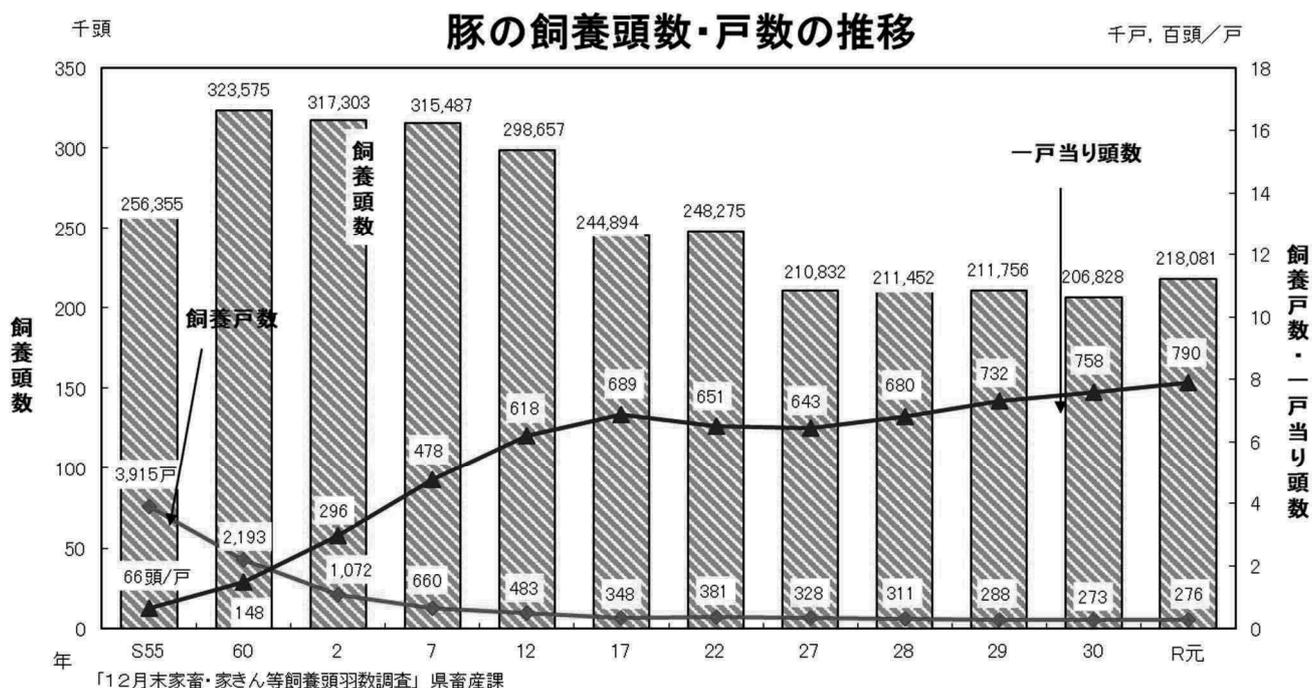


父の日には牛乳(ちち)を贈ろう！キャンペーンによる副知事への県産牛乳贈呈式

(3) 養豚

本県の豚の飼養頭数は、環境問題、担い手不足等の諸問題から、飼養戸数および頭数の微減が続いており、1戸あたりの飼養頭数や県内豚「と畜」頭数においては、連続傾向にある。

沖縄県では、「沖縄養豚獣医療体制整備事業」の衛生対策向上の取組や「おきなわブランド豚増頭体制確立事業」による生産性の高い繁殖母豚供給体制の確立への取組により1母豚あたりの肉豚生産頭数の増頭の効果もあり、県内養豚は生産性向上が図られ堅調な傾向である。

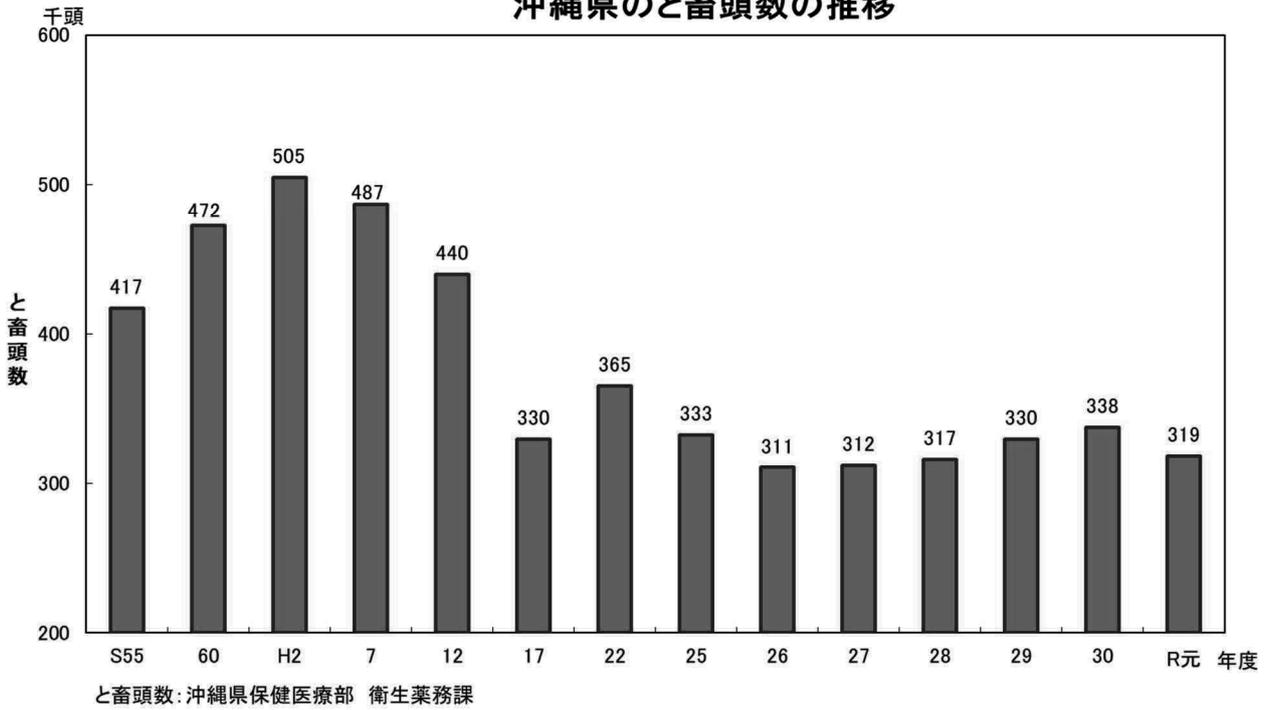


沖縄アグー豚

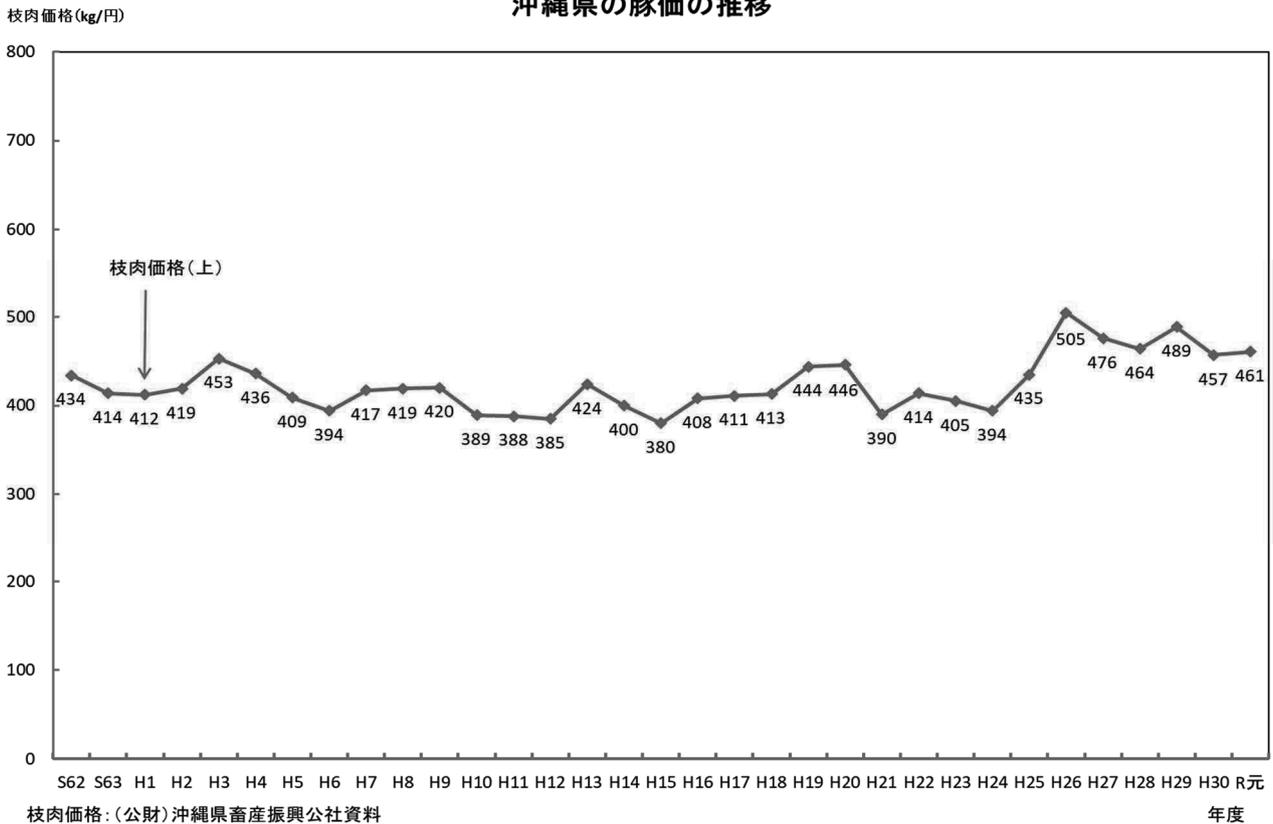


おきなわアイランド

沖縄県のと畜頭数の推移



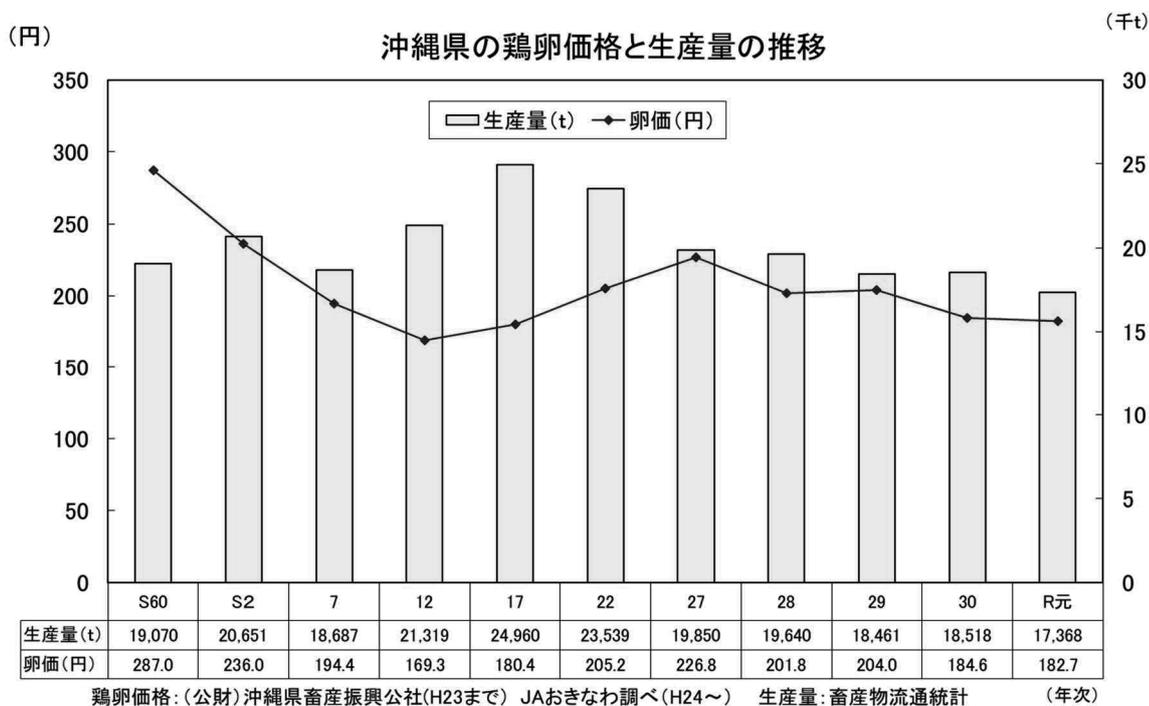
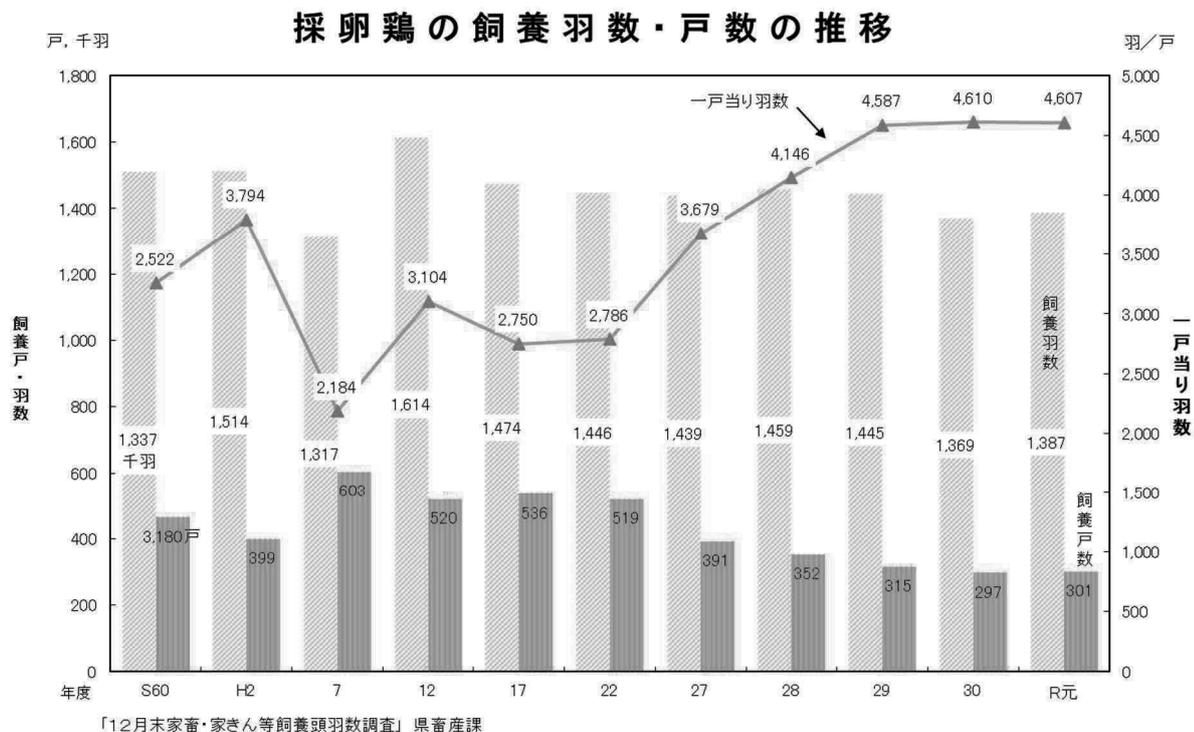
沖縄県の豚価の推移



(4) 養 鶏

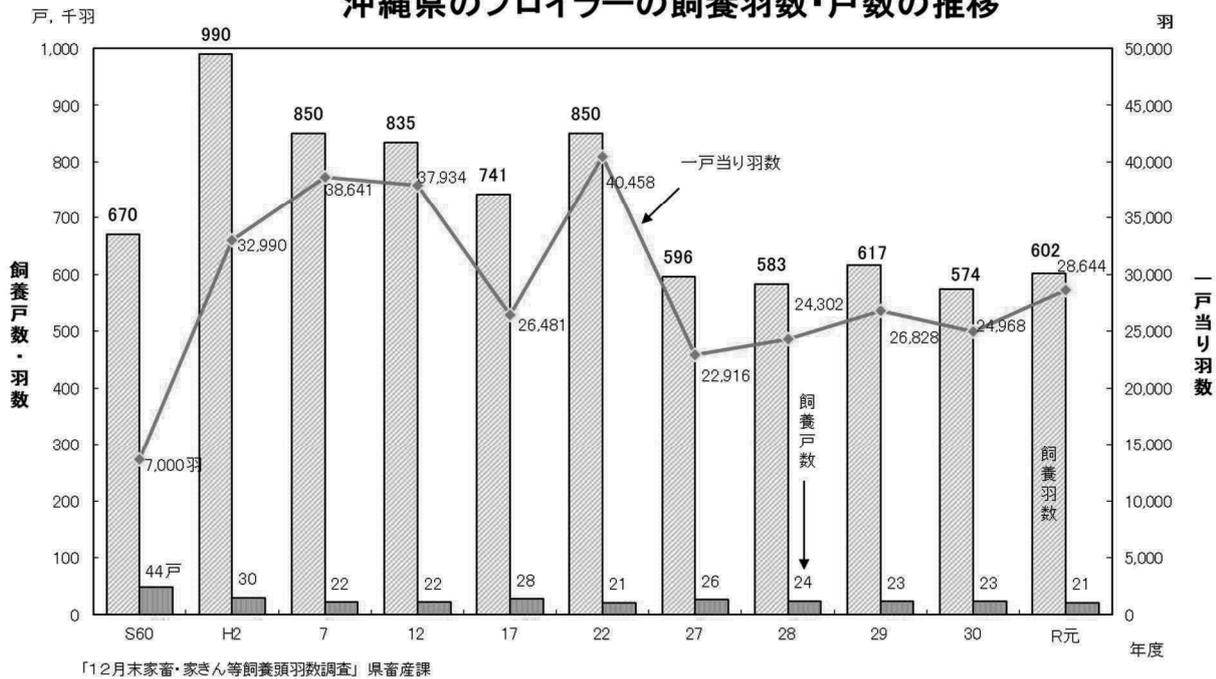
近年、採卵鶏の飼養戸数は減少しているが、飼養羽数は安定しており、鶏卵の生産量は、約 20,000 t で、安定した供給体制が図られている。

沖縄県養鶏協会は、県産たまごの消費拡大促進と養鶏農家の経営安定を図るため、8月9日を「エッグの日」として制定し、県産たまごの消費拡大イベントを行っている。

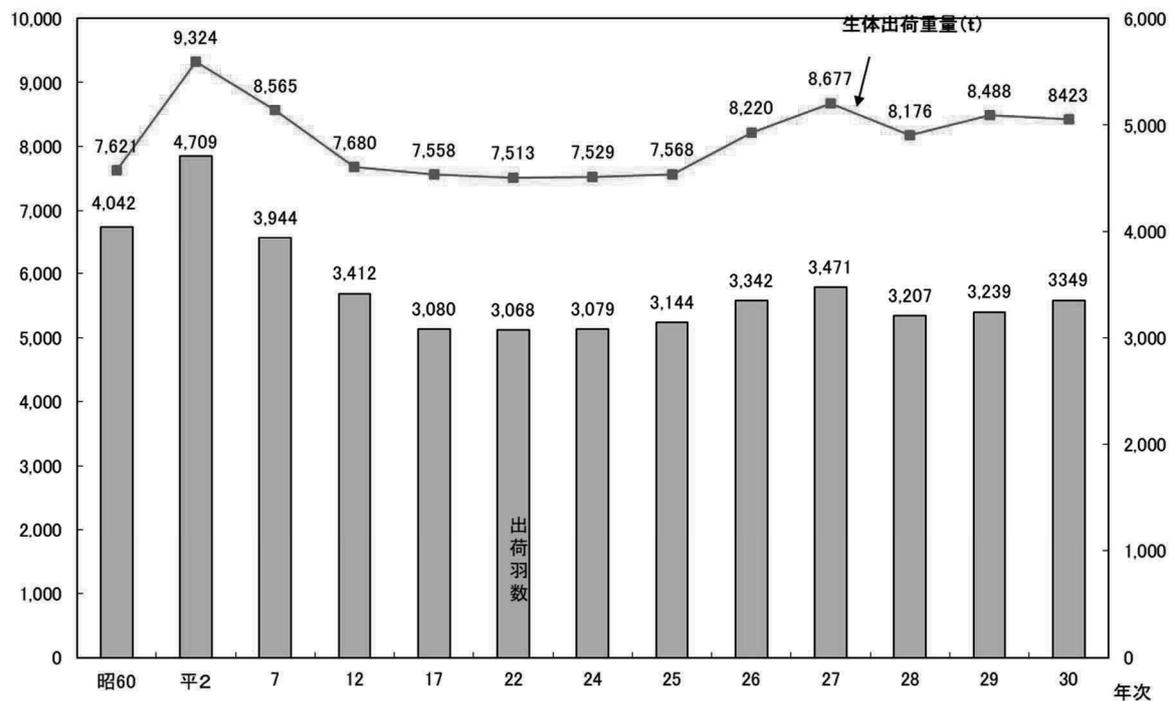


ブロイラーは、主に沖縄本島北部地域で生産されており、県全体で約60万羽が飼養されている。また、生産した鶏肉は、ほとんどが県内向けに出荷されている。

沖縄県のブロイラーの飼養羽数・戸数の推移



(t) ブロイラー出荷状況 (千羽)



出荷羽数、生体出荷重量：H26年まで農林水産省「食鳥流通統計」より
H27年まで農林水産省「畜産統計」より算出
出荷羽数：H28以降農林水産省「畜産統計」より
生体出荷重量：H28年以降「畜産統計」の出荷羽数に「食肉便覧」のと体重を乗じて算出